



進路だより

R3. 1. 13
第3学年 11号
安古市高校進路指導部

<共通テスト当日の心構え>

(1) 絶対に遅刻をしない

ベストコンディションで試験に臨むための第一歩は、**とにかく遅刻をしないこと**です(少なくとも1時間前には試験会場に到着しておく)。遅刻すると受験資格を失う場合もあり、たとえ受験できたとしても落ち着いた気分です試験に臨めません。万が一の交通機関の遅れなどを考慮して、余裕をもって試験会場に着けるよう早めに自宅を出ることが大切です。また、**交通事情が考慮されるのは公共交通機関を利用している場合のみ**なので、**できる限り公共交通機関を利用すること**。(天気予報で雪の場合は、特に早めに行動しよう)。なお、地歴公民および理科で2科目申請をしている者は必ず第1解答科目から受験すること。(途中入室で2科目目だけの受験は認められていません。)第1解答科目の受験科目については担任の先生とよく相談しておくこと。

(2) 制服の下は着脱のしやすい衣服を着ておこう

当日は制服着用ですが、ブレザーの下は着脱のしやすい薄手の衣服を身に付け、当日の気温や受験会場の状態に対応できるようにしておきましょう。また、雨・雪の場合は**履き替えのための靴下一足やカイロ等も準備**しておきましょう。

(3) 休憩時間に答え合わせをしない

「あの問題、何番にした？」などと終わった科目の答えを友達と確認しあっても不安が募るだけです。試験はまだ続いています。終わったことはいっさい気にせず、次の試験のことだけを考え、「今見ているこの問題が出る！」という気持ちで最後の見直しをしましょう。軽く身体を動かしたり、友達と話したりしてリラックスするのも良いです。行きたくなくても、**次の試験開始までには必ずトイレに行っておきましょう**。

(4) 食べ過ぎに注意

共通テストは確かに緊張します。しかし緊張していても、昼食を目一杯食べると眠気に襲われることも。大事な試験の日だからと立派な弁当を持たされるかもしれませんが、**昼食は軽めに、後はお腹がすいた時にプラスαくらいのつもり**がよいでしょう。

(5) 落ち着いて受験しよう

① 高得点のカギは**いかに落ち着いて試験に臨み、身につけた学力を100%発揮できるか**にかかっています。冷静であれば避けることができたと思われるミスを極力なくすためにも、**気負わず、模試の一つくらいの気持ちで受験**しましょう。

- ② いざ本番が始まったら目標点を意識せず(平均点は毎年変わる)、**受験科目に集中**することが大切。各科目の細かい点数を考えるより、「一つひとつの教科・科目に最善を尽くす」ことが大事。失敗したとしてもくよくよせず、気持ちを切り替えて次の科目に全力を尽くします。自己採点は学校できちんと行います。(決して一日目の夜などに自己採点はしないように。結果が良くても悪くても翌日の平常心が保てなくて良いことにはなりません。)
- ③ **当日は科目変更などはせず、申請した科目を落ち着いて受験しましょう**。特に理社で選択した受験科目や受験時間などは絶対に間違えないようにしましょう。
- ④ 解答用紙の科目選択欄への記入、マーク漏れに注意。最終模試でも解答用紙の科目選択欄(「地歴・公民」、「理科」)のマーク漏れやミスがみられました。**本番では、まず最初に確実にマークをすること**。解答科目がマークされていない場合、又は複数の科目にマークされている場合は0点となります。
- ⑤ **問題選択のミスを絶対にしない**。特に、最近の模試でも「数学Ⅰ」と「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」と「数学Ⅱ・数学B」を間違えた人がいました。本番ではそういった間違いをしないようしっかり確認して**(問題ページの最初と最後に折り目をつける、問題番号に〇をつけるなどの工夫)**問題にとりかかります。
- ⑥ マークずれにも注意。**大問ごとに初めと終わりの解答番号を確認し、マークずれがないかを確認すること**。
- ⑦ ICプレーヤー(リスニング)の操作や携帯電話の取り扱いなど、**試験に関わる諸注意に耳を傾け、その指示に従うこと**(自分勝手なことはしないこと)。

(6) 問題冊子を忘れずに!

試験が終わるたびに**問題冊子はすぐカバンに入れましょう**。(机の中に入れない。)過去に、試験会場に問題冊子を置き忘れて帰って、正しい自己採点ができなかったケースあり。

<自己採点について>

【日 時】	1月18日(月) 1限~5限:自己採点事前説明 自己採点(ベネッセ・河合・高松予備校の3種類)
	*注意 遅刻等しないこと(時間内に提出されないと、「合格可能性判定」データが作成されないので注意!)
【場 所】	各HR教室
【持参物】	共通テストの問題冊子一式(絶対に忘れないこと!) 筆記具(鉛筆・消しゴム・黒ボールペン)・電卓 自習道具(早く終わった者用)

(1) 自己採点を正確にするために

自己採点は二次試験出願の貴重な資料となるので、本番でマークした解答番号を確実にチェックします。また、受験したすべての教科・科目は(たとえ出来が悪くても)、必ず記入します。

(2) 志望校の判定を確かなものにするために

終了後、「今年の試験は難しかった」とか「平均点が上がりそう」などと、いろいろな情報や噂が流れます。しかし、あくまで推測にしかすぎず、全国の集計結果が出るまではっきりしたことはわかりません。そうした情報に惑わされることなく、**自己採点後に合格可能性判定のために記入する志望校は、基本的には12月の三者懇談で確認した併願パターン大学・学部を記入します。**

<共通テスト会場情報>

今年の本校の試験会場は4会場に分かれます。各会場の道順は、受験票で必ず事前に確認して、ゆとりをもって集合しましょう。以下に示した道順は、一例です。自分で確認しましょう。

【広島経済大学】

所在地 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

道順 ●JR可部線「下祇園駅」下車、スクールバス(R3年は無料)で5分

【広島文教大学】

所在地 広島市安佐北区可部東1-2-1

道順 ●JR可部線「中島駅」下車、徒歩15~20分

●広島交通・JR・広島電鉄各バス「広島文教大学入口」下車、徒歩15分

【安田女子大学】

所在地 広島市安佐南区安東6-13-1

道順 ●アストラムライン「安東駅」下車、徒歩5分

【広島修道大学】

所在地 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1

道順 ●アストラムライン「広域公園前駅」下車、徒歩すぐ

●JR横川駅前からバス

「五月が丘団地・免許センター」行「広島修道大学」下車

<共通テスト日程>

以前、配付した「受験上の注意」を、再度確認しておくこと。

1 試験実施期日等

日程	出題教科・科目	受験者入室終了	試験開始	試験終了	
令和3年 1月16日(土) 及び 1月30日(土)	地理歴史 公民	2科目登録者			
		9:05まで	9:30	11:40	
	国語	1科目登録者			
		10:15まで	10:40	11:40	
1月17日(日) 及び 1月31日(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:15まで	9:30	10:30
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:05まで	11:20	12:30
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	13:35まで	13:50	14:50
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2科目登録者		
15:25まで			15:40	17:50	
		1科目登録者			
		16:35まで	16:50	17:50	

(注1) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、試験当日に1科目のみを受験することはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度(「地理歴史、公民」は9:50、「理科②」は16:00)までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。

また、第1解答科目のみを受験し、途中退室することもできません。

(注2) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います。第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。

なお、答案回収等を行うための時間中に問題冊子を開いたり、試験室から退室することはできません。トイレ等を理由にやむを得ず退室する場合でも一時退室を理由に解答開始時刻の繰下げや試験時間の延長は認められません。

(注3) リスニングは、音声問題をうい30分間で解答を行います。解答開始前に受験者に配付するICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。